

#### 4 褥瘡発生率

※褥瘡（いわゆる床ずれ）は看護ケアの質評価の重要な指標の1つとなっています。

褥瘡は患者のQOL（quality of life＝生活の質）の低下をきたすとともに、感染を引き起こすなど治癒が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。そのため、褥瘡予防対策は、提供する医療の重要な項目の1つにとらえられています。より低い値が望ましい。

調査実施日	対象入院延患者数	d 2以上の褥瘡の 新規院内発生患者数	褥瘡発生率
2022年01月	12,756	12	0.09%
2022年02月	11,322	12	0.11%
2022年03月	12,651	12	0.09%
2022年04月	11,651	9	0.08%
2022年05月	12,119	21	0.17%
2022年06月	12,480	7	0.06%
2022年07月	12,836	13	0.10%
2022年08月	12,440	10	0.08%
2022年09月	11,974	13	0.11%
2022年10月	12,489	11	0.09%
2022年11月	12,741	19	0.15%
2022年12月	12,567	10	0.08%
2023年01月	12,440	16	0.13%
2023年02月	11,373	9	0.08%
2023年03月	12,220	8	0.07%
2023年04月	11,946	8	0.07%
2023年05月	11,688	12	0.10%
2023年06月	12,611	14	0.11%
2023年07月	12,886	10	0.08%
2023年08月	12,108	15	0.12%
2023年09月	11,268	16	0.14%
2023年10月	11,468	14	0.12%
2023年11月	11,353	13	0.11%
2023年12月	12,319	17	0.14%

(参考) QI 推進事業参加病院の平均値

2017年度 0.09% (前年比+0.02)

2018年度 0.07% (前年比△0.02)

2019年度 0.07% (前年比±0)

2020年度 0.11% (前年比+0.04)

2021年度 0.14% (前年比+0.03)

2022年度 0.11% (前年比△0.03)